

「でんきと私」

1年 電気工学科 松林 建吾

日本人は電気を使い電子レンジや冷蔵庫、エアコンを動かしても便利で過ごしやすい生活を送っていました。ですが今は電気代が高騰していて生活の中で節電をしようという動きになってきています。その動きの中で心掛けているだけで行動に移していない人はとても多いと思います。実際自分の家でも節電しようと言っているにも関わらず行動に移している姿や実際にしているものをあまり見かけません、これは友人の家庭でも同じように心掛けているだけで行動に移せていないと思うという意見が出てきました。ちゃんと心掛けているのにも関わらずなぜ行動に移せていないのか、とても疑問に思ったので自分の中の意見や疑問に対する答えを書きたいと思います。まず節電をする方法として第一に挙げられるのは家庭によって一ヶ月間に使える電気量を決めることです。これによって多く使うことがなくなるとは思いますですが、この方法は確かに節電できるかもしれませんが生活をする上で蓋をされてしまっていると感じるし何より私は自分から節電をするようになることが大切だと思うのでこれを答えとするならば的外れだと思いました。二つ目は全家庭に電気使用量を視覚化できるような機械を取り付けることです。こうすると今まで実感が湧かなかった電気の無駄遣いが一気に現実的に感じるようになると思います。そして現実的に感じられることで家庭内の意識がさらに節電に向いてとてもいいと思います。また節電をすると電気使用量が明確に減っていることがわかるのでやりがいも生まれると思いますし何より自分から節電をする行動に移せるとは思います。ここまでの考えから私は電気使用量を視覚化することが節電への第一歩になるとは思いました、こうすることで今の生活がさらに楽しくなるだけでなく未来の私たちが楽になるとは思います。個人で動くのではなく、政府に率先して動いてもらうことが重要になると考えました。